

## DESIGN-R® 褥瘡評価

- ※1 深さ(Depth)の得点は合計点に含めない
- ※2 持続する発赤の場合も皮膚損傷に準じて評価する
- ※3 "短径"とは、"長径と直交する最大径"である

### Depth 深さ ※1

創内が一番深い部分で評価し、改善に伴い創底が浅くなった場合、これと対応の深さとして評価する

d	0	皮膚損傷・発赤なし
	1	持続する発赤
	2	真皮までの損傷
D	3	皮下組織までの損傷
	4	皮下組織を超える損傷
	5	関節腔、体腔に至る損傷
	U	深さ判定が不能の場合

### Exudate 滲出液

e	0	なし
	1	少量： 毎日のドレッシング交換を要しない
	3	中等量：1日1回のドレッシング交換を要する
E	6	多量： 1日2回以上のドレッシング交換を要する

### Size 大きさ

皮膚損傷範囲を測定：[長径(cm) × 長径と直行する最大径(cm)] ※2

s	0	皮膚損傷なし
	3	4未満
	6	4未満以上 16未満
	8	16以上 36未満
	9	36以上 64未満
	12	64以上 100未満
S	15	100以上

### Inflammation/Infection 炎症/感染

i	0	局所の炎症徴候なし
	1	局所の炎症徴候あり(創周囲の発赤、腫脹、熱感、疼痛)
I	3	局所の明らかな感染徴候あり(炎症徴候、膿、悪臭など)
	9	全身的影響あり(発熱など)

### Granulation 肉芽組織

g	0	治癒あるいは創が浅いため肉芽形成の評価ができない
	1	良性肉芽が創面の90%以上を占める
	3	良性肉芽が創面の50%以上90%未満を占める
G	4	良性肉芽が創面の10%以上50%未満を占める
	5	良性肉芽が創面の10%未満を占める
	6	良性肉芽が全く形成されていない

### Necrotic tissue 壊死組織

混在している場合は全体的に多い病態をもって評価する

n	0	壊死組織なし
N	3	柔らかい壊死組織あり
	6	硬く厚い密着した壊死組織あり

### Pocket ポケット

毎回同じ体位で、ポケット全周(潰瘍面も含め)[長径(cm) × 短径(cm) ※3]から潰瘍の大きさを差し引いたもの

p	0	ポケットなし
P	6	4未満
	9	4未満以上16未満
	12	16以上36未満
	24	36以上